

第17 交通安全活動

1 四季の交通安全運動

交通事故をなくす福岡県県民運動本部の主唱により、県警をはじめとした県下60自治体及び135実施機関・団体が交通安全県民運動を実施した。

(1) 春の交通安全県民運動

ア 運動の期間

平成30年4月6日（金）から同月15日（日）までの10日間

イ 運動の基本

子供と高齢者の交通事故防止 ～事故にあわない、おこさない～

ウ 運動の重点

(ア) 飲酒運転の撲滅

(イ) 歩行者・自転車乗車中の交通事故防止(自転車については、特に自転車安全利用五則の周知徹底)

(ウ) 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

エ 主な活動

○ 交通事故死ゼロを目指す日（4月10日）における街頭活動

オ 期間中の交通事故発生状況（数値は集計時の概数）

区分	地区等	合計	地区別				高速道路等 (※)
			福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数(件)		786	370	222	68	114	12
	前年比	-219	-88	-80	-9	-42	±0
死者数(人)		7	0	4	1	2	0
	前年比	+6	±0	+4	±0	+2	±0

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

(2) 夏の交通安全県民運動

ア 運動の期間

平成30年7月10日（火）から同月19日（木）までの10日間

イ 運動の重点

(ア) 子供と高齢者の交通事故防止 ～横断歩道マナーアップの推進～

(イ) 飲酒運転の撲滅

(ウ) 自転車の安全利用の推進

ウ 主な活動

○ 通学路を中心とした県下一斉取締り日（7月11日）

エ 期間中の交通事故発生状況（数値は集計時の概数）

区分	地区等	合計	地区別				高速道路等 (※)
			福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数(件)		982	496	259	70	138	19
	前年比	+10	+13	-9	-8	+8	+6
死者数(人)		8	1	3	1	2	1
	前年比	+5	±0	+3	+1	+1	±0

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

第17 交通安全活動

(3) 秋の交通安全県民運動

ア 運動の期間

平成30年9月21日（金）から同月30日（日）までの10日間

イ 運動の重点

- (ア) 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- (イ) 飲酒運転の撲滅
- (ウ) 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- (エ) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

ウ 主な活動

- 交通事故死ゼロを目指す日（9月30日）における街頭活動

エ 期間中の交通事故発生状況（数値は集計時の概数）

区分	地区等 合計	地区別				高 速 道路等 (※)
		福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数（件）	784	384	207	66	117	10
前年比	-194	-109	-40	-10	-35	±0
死者数（人）	3	2	0	0	1	0
前年比	-3	+2	-3	-2	±0	±0

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

(4) 年末の交通安全県民運動

ア 運動の期間

平成30年12月11日（火）から同月31日（月）までの21日間

イ 運動の重点

- (ア) 飲酒運転の撲滅
- (イ) 子供と高齢者の交通事故防止 ～横断歩道マナーアップの推進～

ウ 主な活動

- 横断歩行者等妨害特別取締日（12月13日）
- 自転車特別指導取締（8の日）作戦（12月18日）
- 県下一斉通学路取締り（12月21日）

エ 期間中の交通事故発生状況（数値は集計時の概数）

区分	地区等 合計	地区別				高 速 道路等 (※)
		福岡	北九州	筑豊	筑後	
発生件数（件）	1,874	823	537	180	305	29
前年比	-201	-178	+15	+19	-41	-16
死者数（人）	8	4	1	0	2	1
前年比	-1	-3	±0	-1	+2	+1

(※) 高速道路等とは、高速道路交通警察隊が管轄する道路をいう。

第17 交通安全活動

2 関係機関・団体が実施する交通安全活動への支援

交通関係団体が実施する無事故運動の支援を行うことによって、企業の自主、積極的な交通安全活動を促進するとともに、傘下従業員の交通安全意識の高揚を図った。

また、交通事故をなくす福岡県県民運動本部では、高齢者の交通事故防止に対する関心を高めるため、市区町村において効果的な高齢者の交通安全対策の推進を競わせる「シルバーセーフティコンクール（高齢者無事故運動）」を実施していることから、これに対する支援を行うなど、高齢者の交通事故防止対策の強化を図った。

運動名・期間	表彰種別と表彰数		実施内容
平成30年福岡県トラック協会無事故運動 (主催 福岡県トラック協会) 自 H30. 1. 1 至 H30. 12. 31 (365日間)	本部長表彰 交通部長表彰	10 10	○安全（運行）管理体制の強化 ○顧客の輸送の安全確保 ○プロドライバーの交通安全意識の向上
第36回バス年末年始無事故運動 (主催 福岡県バス協会) 自 H30. 12. 1 至 H31. 1. 31 (62日間)	本部長表彰 交通部長表彰	2 2	○事業主の社会的責任の明確化
平成30年度ハイヤー・タクシー年末年始 交通事故防止活動 (主催 福岡県タクシー協会) 自 H30. 12. 1 至 H31. 1. 31 (62日間)	本部長表彰 交通部長表彰（無事故） 交通部長表彰（施策優秀） 警察署長表彰	4 4 15 54	
福岡県安全運転管理協議会 第37回交通事故防止コンクール 自 H30. 12. 1 至 H31. 1. 31 (62日間)	本部長・安管協会長 連名表彰 交通部長・安管協会長 連名表彰	10 30	○安全運転管理者選任事業所従業員の 交通安全意識の高揚 ○安全運転管理体制の確立
平成30年度シルバーセーフティコンクール (高齢者交通事故防止への取組) 自 H30. 4. 1 至 H31. 3. 31 (365日間)	交通事故をなくす福岡県 県民運動本部長賞	12	○72市区町村参加による高齢者の交通 事故防止を目的として実施

第17 交通安全活動

3 県民総ぐるみでの交通安全推進基盤の整備

交通安全教育が地域、職域及び学校等において主体的に行われるよう、交通安全アドバイザー等の活動を行う「交通安全アドバイザー」の拡充及びその活動の活性化を図った。

○ 交通安全アドバイザーの登録状況

- ・ 団体・・・127団体
- ・ 個人・・・1個人

4 交通安全教育

(1) 対象別実施状況

区分	対象別			高校生	大学生等	高齢者	その他	合計
	幼児	小学生	中学生					
実施回数(回)	677	1,416	178	113	73	1,360	1,813	5,630
対象者数(人)	71,473	124,967	47,142	59,188	13,749	51,868	96,429	464,816

(2) 実施内容

ア 子ども等に対する安全教育

(ア) 子どもに対する安全教育

子どもに対して、正しい歩行方法等について指導したほか、特に幼児に対しては、幼稚園等の保育士、教諭及び保護者を交えた交通安全教育を推進した。

また、「交通安全まごころ・ふれあいキャンペーン」と称した子どもと高齢者の世代間交流による交通安全教室を開催するなど、対象に応じたきめ細かな交通安全教育を行った。

(イ) 学生等に対する自転車教育等

主として学生の自転車利用者に対して、交通安全教室において「自転車の正しい(安全な)乗り方」を実技を交えて指導して自転車の安全利用を図った。また、高校生の二輪車運転者に対しては、実技を交えた二輪車交通安全教室を開催するなどの参加・体験・実践型の安全教育を行った。

区分	自転車教育(全対象)	二輪車教育(高校生)
実施回数(回)	1,011	14
対象者数(人)	163,088	3,446

(ウ) 高齢者に対する安全教育

高齢者に対して、参加者の興味を引き講習効果を高めるため、歩行者対策として歩行者シミュレーターを活用した交通安全教室、運転者対策としてドライビングスクールを開催するなどの参加・体験・実践型の講習を積極的に推進するなど、態様に応じた講習を実施し、運転者等の安全意識の向上を図った。

区分	シルバードライビングスクール
実施回数(回)	46
対象者数(人)	1,095

第17 交通安全活動

5 青少年の交通事故防止対策の推進

(1) 大学生の交通事故防止懇話会

大学生の交通事故を防止するため、平成9年1月、県内40大学に働きかけ「大学生の交通事故防止懇話会」が発足し、年2回学生を指導する学生部と警察関係者による大学生の交通事故防止に関する意見交換を行うなどして、青少年の交通事故防止対策を推進した。

○ 平成30年の実施状況…年2回開催

平成30年8月28日（火）	北支部（産業医科大学 他10大学等）
平成30年9月7日（金）	南支部（第一薬科大学 他31大学等）

6 表彰

永年にわたり地域の交通安全に功労のあった者や安全運転に努めた優良運転者に対し、次のとおり各種の表彰を行った。

(1) 交通栄誉章（警察庁長官と全日本交通安全協会長との連名）及び管区表彰（管区警察局長と九州交通安全協会長との連名）

表彰種別	交通栄誉章緑十字			管 区 表 彰	合 計
	金章	銀章	銅章		
受賞者数等	5人	24人	142人	120人 7事業所等	291人 7事業所等

※ 緑十字銅章は、全日本交通安全協会長の単独表彰である。

(2) 福岡県警察本部長と福岡県交通安全協会長との連名表彰

表彰種別	交通安全功労者	優良安全運転者	優良安全運転者	優良安全運転者	交通安全優良団体	交通安全優良学校	優良交通安全協会	合 計
受賞者数等	28人	9人	88人	9事業所	1団体	4校	2協会	125人 16事業所等

(3) 交通事故をなくす福岡県県民運動本部長表彰

表彰種別	交通安全功労者・団体	優良安全運転者	シルバーセーフティコンクール	交通安全推進市区町村	合 計
受賞者数等	23人 3団体	19人	12市区町	18市区町	42人 33市区町等

第17 交通安全活動

7 企業における安全運転管理の推進状況

(1) 安全運転管理者等選任事業所数の年別推移

年別(平成)	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
安全運転管理者数 (事業者数)	13,529	13,519	13,503	13,577	13,705	13,775	13,898	13,950	14,063	14,217	14,259
副安全運転管理者数	2,396	2,438	2,473	2,505	2,552	2,583	2,678	2,725	2,776	2,866	2,929
計	15,925	15,957	15,976	16,082	16,257	16,358	16,576	16,675	16,839	17,083	17,188

(2) 安全運転管理者等の実態

年別	区分	使用の本拠数	安全運転 管理者数	副安全運転 管理者数	使用自動車 台数	専従運転者数
平成30年度末現在		14259	14,259	2,929	188,238	251,970
平成29年度末現在		14,217	14,217	2,866	186,882	249,256
前年比		+42	+42	+63	+1,356	+2,714
増減率		+0.3%	+0.3%	+2.2%	+0.7%	+1.1%

(3) 安全運転管理者等選任事業所の交通事故(平成30年中)

ア 発生状況

	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
全事故	31,279	136	41,158
前年比	-3,583	-3	-4,935
安全運転管理者等選任事業所	940	10	1,219
前年比	-140	+2	-201
対全事故比率	3.0%	7.4%	3.0%

イ 通行目的別発生状況

	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
業務中の交通事故	638	9	838
前年比	-114	+3	-175
通勤中の交通事故	302	1	381
前年比	-26	-1	-26
計	940	10	1,219
前年比	-140	+2	-201

ウ 違反別発生状況

	発生件数(689件)									
	0	100	200	300	400	500	600	700		800
信号無視	20									2.9%
最高速度違反	0									0.0%
歩行者妨害等	7									1.0%
徐行場所違反	17									2.5%
交差点安全進行義務違反	21									3.0%
優先通行妨害等	8									1.2%
一時不停止等	11									1.6%
右左折違反	2									0.3%
通行区分	2									0.3%
安全運転義務違反	112									16.3%
その他の違反	489									71.0%

(4) 平成30年度安全運転管理者等講習(法定)実施状況

区分	実施回数	講習対象者	受講者	受講率
安全運転管理者等講習	75	16,994	16,980	99.9